

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

エントリー学校名： 群馬県前橋市立前橋高等学校

活動名：「めぶく」プロジェクト
 高校生による前橋市活性化への提案

解決すべき課題：前橋市は近年、全国的に起きている少子高齢化に伴う人口減少が進んでいる。特に高校を卒業した若者たちが地元から離れるのが顕著であり、その対策は喫緊の課題である。地元就職の割合が半数以上を占めている実業高校（商業・工業など）の卒業生は、地域発展のために貢献しているが、本校のような9割以上が進学をする普通科高校卒業生の首都圏への流出が激しい。

(図1：2019年5月29日上毛新聞記事)

目標・方針：前橋の大人たちの地元にかける熱い思いを高校生に伝える。
 私たちは普通科の高校生に対して、いつ、どのように何をすると地元を目を向けてくれるかを、地域の大人たちと共に考え、共通認識を得て、チームとして高校生にアプローチする必要があると考えた。

活動内容：前橋市活性化に向けての提案とその実現を目指すことで、徹底的に前橋を知る。
 1 学年時は、市内で活躍する大人たちの地元愛をインプットする。市職員から総合計画説明や市内若手経営者によるパネルディスカッション、市内中心商店街インタビュー（写真2）、市内企業フィールドスタディ（写真3）などを実施。
 2 学年時は生徒目線からの課題設定、提案を様々な場でアウトプットする。模擬前橋市長選挙においてはクラスで協力してマニフェストを考え、前橋市高校生模擬議会では直接、市長及び前橋市各部署部長の方々に提案、質問を行った。また、市内の学校に所属する園児、生徒による学習成果発表会「まえばし学校フェスタ」において、探究学習についてのプレゼンテーションとポスターセッションを実施した。
 3 学年時はこれらの経験を生かし、それぞれの進路実現に向けてチャレンジする。

活動の成果：昨年度卒業生の県内進学率は例年40%前後だが、67%と上昇した。
 ある県内大学関係者からは、本校生徒の自己PRの優秀さを高く評価していただいたり、公務員試験における面接試験でも探究学習の成果について評価していただいたりと、生徒たちは地域のことを本気で考えたことが自らの進路に生かされ、自己有用感が高くなったとみられる。
 また、本校では教職員全員が関わり、「市前生に身につけて欲しい6つの力」（表4）を設定した。平成30年度入学生（現3年生）に、昨年12月に実施した6つの力の自己評価は、入学時と比較しすべての項目で向上した。（グラフ5）本校は前橋市内進学高校では中堅に位置し、中学生の時にリーダーとしての経験が乏しい生徒が多い。その生徒たちがこの2年間での成長を自らで感じ取れたことは、今後の人生の励みになることは間違いない。

- アピールポイント（アイデアや工夫）
- * 地元を愛する熱い大人（大学生、社会人、地域の方）を学校と結びつける。
 - * インプットした知識をアウトプットする場を設定する。
 - * プレゼンテーション能力を育成し、自己有用感の向上を図る。
 - * 教職員はアドバイザーとして生徒に接し、方向性を示さない。

写真2



写真3



グラフ5

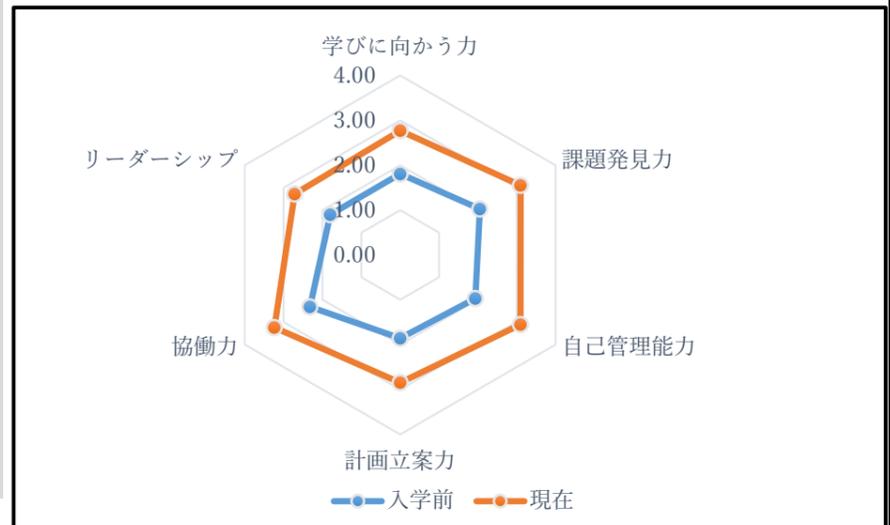


表4

項目	1	2	3	4	5
学びに向かう力	1 自分の強みがわからず、自信を持って行動できない。	2 自分では強みがわからないが、人からほめられることで自信をもつことができる。	3 自分の強み・弱みがわかり、見通しが立たなくても自分を信じて行動できる。	4 自分ならではの強みや持ち味を活かせる場面をイメージすることができる。	5 難しいことでも、積極的に挑戦し、失敗しても向かおうとする姿勢が見られる。
課題発見力	1 課題に対しての情報収集が、適切な方法でない場合が多い。	2 課題に対し、自分なりに情報を集めることができる。	3 興味のある分野ならば、情報を集めて整理、分析することができる。	4 課題に応じ、様々な方法で情報を集め、比較検討することができる。	5 課題に応じ、様々な方法で情報を収集し、課題を見つけることができる。
自己管理能力	1 人からの指示を待って行動することが多い。	2 良いやり方や習得した技術や知識は、すぐに試みるよう心がけている。	3 任されたことは、自分でやるべきことを考え行動するようにしている。	4 向かっている時には、自発的に考え行動に移すことができる。	5 すべきことや他者の期待を自ら考え、責任をもって行動することができる。
計画立案力	1 自分で目標や計画を立てずに課題に取り組んでいる。	2 課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる。	3 条件が明確な課題であれば目標や発生しそうな問題を予め考えることができる。	4 経験のあることならば不確定な部分があっても具体的に妥当な計画を立てられる。	5 経験のないことでも、現実的で妥当な計画と複数のシナリオを考えることができる。
協働力	1 他の人と一緒に物事に取り組むのが苦手である。	2 割り当てられたことは自分なりに工夫しながら取り組むことができる。	3 自ら情報発信するなど、チームへの貢献を考えて行動することができる。	4 人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけをすることができる。	5 誰かを支援する時には全力でサポートすることができる。
リーダーシップ	1 話し合いの場では議論に消極的が多い。	2 相手や状況に関係なく、主張してしまう。	3 自分の考えを整理し、筋道を立てて伝えることができる。	4 周囲の反対にあっても、正しいと思うことは粘り強く主張できる。	5 自分の考えを論理的かつ気持ちよく相手にわかりやすく伝えることができる。